

主な受賞者の功績概要

東京都社会福祉大会知事感謝状受賞者代表

磯野 輝夫

【功績概要】

「有賀塔三太（ありがとう・さんた）」の芸名で、昭和 38 年から 50 年以上、都内の社会福祉施設において、司会、漫談、バナナの叩き売り、バルーンアート等の演芸慰問活動を行ってきました。

氏は自らのモットーのとおり「気負わず、あせらず、ゆっくりと」50 年以上の長きにわたり芸能ボランティア活動に取り組んでおり、これまでのボランティア活動の回数は 2000 回を超えています。その気さくな人柄とともに年間 50 回を超える活動を通して、社会福祉施設利用者の方たちに多くの喜びと楽しさを与え続けるとともに、ボランティア活動をしている方たちにとっての模範となっています。

また、プロ・アマの芸人さんたちが、ボランティアで都内の福祉施設を訪問して舞踊やマジック・歌謡ショーを披露するボランティア団体である東京善意銀行友の会の六代目会長として、平成 5 年から 23 年間もの間、団体運営を牽引しています。

長年にわたる氏の活動は、社会福祉施設利用者の日々の生活に活力をもたらすものであり、その功績は多大です。

福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状受賞者代表

ひの手話サークル

【功績概要】

ひの手話サークルは、昭和 49 年に設立した日野市内初の手話サークルであり、手話の技術習得のみならず、関係の深い団体である日野市聴覚障害者協会や社会福祉法人日野市社会福祉協議会と連携し、約 40 年間にわたり聴覚障害者の理解と手話啓発など、心のバリアフリーの実現に向けて、積極的に活動しています。

手話技術の学習に加え、市内の小中学校での手話講座や、市主催の手話講習会への講師や助手の派遣など、幅広く市民に手話や聴覚障害者への理解を広めています。

また、市内の地域や公共施設等の名称を手話で表現した「地名手話ガイドブック」（聴覚障害者協会と共同編集）を作成するなど、聴覚障害者の社会参加のための基盤の整備にも尽力しています。

そのほかに、近年は市民フェア・防災訓練等様々な地域行事に参加し、一般市民に向けての手話指導や筆談ボード作りなどを行っています。

聴覚障害者協会と共に来年度より「手話まつり」も企画しており、今後も聴覚障害者への理解や手話の普及に向けた活動が期待されます。